



花いっぱいコンクール入賞おめでとうございます！

大更コミセンでは、例年、町内会、自治公民館等に花苗を提供して環境美化活動に取り組んでおります。

令和7年度においても花苗の提供と併せ、花いっぱいコンクールを実施することとし、15団体から参加申込みをいただきました。

審査に当たっては、元八幡平市花き研究開発センター所長・日影孝志さん、彩花園・伊藤優香子さん、主婦・森寛子さんに依頼して、8月29日に各団体の花壇等の現地調査を実施し、申請書類と併せ厳正なる審査の結果、次の団体が入賞されました。

最優秀賞

渋川開拓公民館



優秀賞

白屋公民館

両沼公民館

五百森自治会



★最優秀賞(1団体) 渋川開拓公民館

★優秀賞(3団体) 白屋公民館

両沼公民館

五百森自治会

★優良賞(6団体) 下町町内会、岡村自治公民館

山子沢自治連絡会、渋川公民館

北村自治公民館、中関自治公民館

★奨励賞(5団体) 上町町内会、松川公民館、大石平公民館、大更小学校、東大更小学校跡地活用協議会

注1) 花いっぱいコンクール実施要領で優良賞は5団体と規定しているが、第5位と第6位が同じ点数であったので、令和7年度限り、同賞は6団体とした。

注2) 各賞の団体配列は行政区番号順です。なお、最優秀賞と優秀賞の花壇風景を掲載します。

審査員講評

今年度の花いっぱいコンクールも、15団体の皆様に参加いただき、森寛子さん、伊藤優香子さん、私の審査員3名で事務局の方のご案内で8月29日に各花壇を見て回りました。本年も私たち審査員が各団体の担当者様や代表者様に直接聞き取る形で審査となりました。お忙しい中、現地に待機していただきました各団体の代表者や担当者の方々には感謝申し上げます。

審査については、大更コミュニティセンターより配付された花につきまして、花壇設計、管理状況、周辺環境との調和、コミュニティ的取り組み4つの観点から行いました。

花壇設計につきましては、新規品目の高さがわからず今年度は草丈の長さを考慮した品目配置となっていたところが多くこの団体様も改善されていました。渋川開拓公民館様は大リーグドジャーズの佐々木投手の背番号11と大谷選手の背番号17をサルビアで作って岩手の代表を応援するメッセージとなっていました。白屋公民館様はドラゴンアイをイメージした品目配置となっていました。両沼公民館様は、各品目のポリウムもあり、草丈も考慮されて見応えのある花壇になっていました。山子沢自治連絡会様も花壇の高低差が生かされた花壇となっていました。渋川公民館様は地域を明るくするイメージをもって大胆にマリゴールドで大きな輪を作っていました。聞き取り調査では、担当された方の花壇設計のご苦労がよくわかりました。

管理状況につきましては、どの団体も夏の高温でかん水にご苦労されたとお聞きしました。また、生育不良のところは新たな苗を植える等工夫されていました。昨年以上に生育状況が良好で雑草も除去されておりましたし、ポリウム不足の花壇はありませんでした。

各団体様ともマリゴールドやサルビアの花柄の除去を行っていただいていたことで感動しました。

(裏面に続く)

周辺環境の調和につきましては、どの団体も地域の景観を考慮しておりましたし、地形も上手に活用しておりました。松川公民館様、上町町内会様、下町町内会様は道路からの景観がすばらしかったです。北村公民館様は新たな花壇設置場所を模索され道路に面して見やすいところに素晴らしい花壇をつくられておられました。

コミュニティ的取り組みについては、代表者や担当者の方への聞き取り調査での審査となりました。五百森自治会様は昨年までと違う別の班の花壇で審査に臨まれました。班が違っても素晴らしい花壇であることを確認でき、花壇作りがコミュニティの活動として定着していると実感しました。今年は高温による熱中症対策のため、除草に小中学生を巻き込めなかったり、高齢化で参加できる人が減ったりといういろいろ大変になってきているとお聞きしました。それでも工夫されて各団体様とも多くの方の参加いただきました。いろいろ大変でしょうがなんとか今後この花壇づくりがコミュニティ活動の暖かい交流の場になることを祈っております。

花いっぱいコンクールを審査させていただいて7年目となりますが、昨年よりさらに皆様レベルアップされていて、今年も審査にほんとうに苦労しました。どの花壇も甲乙つけがたい素晴らしい花壇です。本コンクールに参加されたすべての団体に審査員一同感謝申し上げます。審査員講評といたします。

審査員代表 日影孝志



サークル紹介



今月は、10月18(土)、19日(日)に開催した大更「ミゼンまつり」で、素晴らしい作品を展示していただいた、「楽々クラフトの会」の活動等を紹介いたします。

エコクラフトは、半世紀前梱包材として使われていた紙紐を、二〇〇一年ハマナカと紙ハンドメーカーが、手芸材料として誕生させたものです。

和紙のもつ独特のやさしさと肌触りで、織り成す紙バンドのクラフトが、国内外で注目された頃、大更コミセンの職員の中から、こんな魅力ある物作りがしたいと声が上がりました。当時あまり世間に知られていない中、右半身に障害を持ちながら作家として活躍していた加藤久子さんを講師に迎えて、二〇一〇年に活動を開始しました。翌年には、バザー五万円の売上 岩手日報(震災)に寄付し、県知事から感謝状をいただきました。

エコクラフト手芸は、紙バンドを編んで、カゴやバッグ、小物入れ、アクセサリや花などの置物と、多岐にわたっています。バンドの色、太さ、編み方等多彩な表情の作品ができ、自分でカゴが編めた時の感動はひとしおです。又、手を使った作業が、脳の活性化にも良いと言われています。

会員は二十四名、活動は月二回火曜日、弁当持参で一日参加する方が多く、作業中も会話が途絶えることなく、賑やかに楽しく作品作りをしています。男女問わず興味のある方、見学、体験に是非おいで下さい。



会長 坂久保洋子



行事等予定表



月 日	内 容	時 間・場 所
10月24日(金)	大更ふれあい大学第5回講座 「スコップ三味線を聞こう&ごみを減らそう」	10:00～ 大更コミセン(大)
10月27日(月)	市長とのテーマトーク	18:00～ 大更コミセン(大)
10月29日(水)	三役会議(第4回)	17:00～ 大更コミセン(中)
	体育事業部会議(第2回)	18:00～ 大更コミセン(大)
11月 7日(金)	市民講座「はじめての俳句教室」	13:00～ 大更コミセン(中)
11月11日(火)	大更ふれあい大学第 6 回講座「フロアカール」	9:00～ 大更コミセン(体)
11月12日(水)	大更婦人学級第 5 回講座「フロアカール」	9:00～ 大更コミセン(体)

11月の休館日：2日(日)、3日(月・文化の日)、16日(日)、
23日(日・勤労感謝の日)、24日(日・振替休日)